



特別勘定の名称	投資信託の名称	投資信託の運用会社	ページ
日本株式インデックス型	三菱 UFJ TOPIX・ファンド VA1	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	1
日本株式アクティブ A型	フィデリティ・日本成長株・ファンド VA1	フィデリティ投信株式会社	2
日本株式アクティブ B型	アクティブバリューオープン VA2	T&Dアセットマネジメント株式会社	3
外国株式インデックス型	三菱 UFJ 外国株式ファンド VA	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	4
アジア外国株式 アクティブ型	GIM アジア株・アクティブ・オープン VA	JPモルガン・アセット・マネジメント 株式会社	5
外国債券アクティブ型	グローバル・ソブリン・オープン VA	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	7
バランス 25	バランスファンド VA25A	ステート・ストリート・グローバル・ アドバイザーズ株式会社	8
バランス 50	バランスファンド VA50B		9
マザーファンドの状況			10
マネー	フィデリティ・マネー・プール VA	フィデリティ投信株式会社	12

募集代理店

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命
MS&AD INSURANCE GROUP

特別勘定運用レポートをご覧いただけにあたって

当資料をご覧いただく際にご留意いただきたい事項

- ・当資料は既に当商品にご加入されたご契約者に対し、三井住友海上プライマリー生命の藍・彩・花〔変額個人年金保険（災害死亡50%型）〕の特別勘定および特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況を開示するためのものです。なお、商品の詳細につきましては、商品パンフレット、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をご覧ください。
- ・当資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、〔組入投資信託の運用状況〕に記載されているコメント等は当資料作成時点の見解に基づくものであり、予告なく変更されることがあります。
- ・〔組入投資信託の運用状況〕は、運用会社が作成する運用報告を三井住友海上プライマリー生命が参考情報としてそのまま提供するものであり、内容に関しては、三井住友海上プライマリー生命の責めによるものを除き、三井住友海上プライマリー生命は一切の責任を負いません。

この保険商品についてご確認いただきたい事項

■市場リスクについて

この保険は、払込みいただいた保険料を投資信託等を投資対象としている特別勘定で運用し、その運用実績に基づいて将来の死亡保険金額、解約払戻金額、および年金額等が変動（増減）するしきりの生命保険商品です。特別勘定の資産は、主に国内外の株式・債券等に投資する投資信託を通じて運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、解約払戻金等のお受取りになる合計額が払込まれた保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。これらの特別勘定の運用に伴うリスクはすべてご契約者に帰属します。

■ご負担いただく費用について

この保険では、保険関係費および資産運用関係費等をご負担いただきます。また、一定期間内にご契約を解約・一部解約する場合には、所定の解約控除がかかります。詳しくは次ページ「諸費用について」をご参照ください。

■その他

- ・変額個人年金保険は特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、ご契約者が投資信託を直接保有するものではありません。
- ・特別勘定のユニットプライスの値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きと必ずしも一致しません。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有することがあることや、ユニットプライスの計算に当たり保険関係費等の費用を控除すること等によるものです。

諸費用について

この保険の費用の合計は、以下の費用の合計額となります。

積立期間中にご負担いただく費用

1. すべてのご契約者にご負担いただく費用

下記の費用を控除した上で、ユニットプライスは計算されます。

項目	目的	費用	時期
保険関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに死亡保険金・災害死亡保険金等を支払うための費用	積立金額に対して年率 2.35%	積立金額に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。
資産運用関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用にかかる費用	特別勘定ごとに異なります。詳しくは下記をご覧ください。	各特別勘定の資産残高に対して所定の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。

特別勘定の名称	資産運用関係費 (消費税込 年率)	特別勘定の名称	資産運用関係費 (消費税込 年率)
日本株式インデックス型	0.462%程度	外国債券アクティブ型	0.935%程度
日本株式アクティブA型	1.133%程度	バランス 25	0.33%程度
日本株式アクティブB型	0.935%程度	バランス 50	0.33%程度
外国株式インデックス型	0.495%程度	マネー	0.00935%~0.55%程度*
アジア外国株式アクティブ型	1.21%程度		

* 前月の最終営業日を除く最終 5 営業日間における無担保コール翌日物レートの平均値に応じた率を用いて各月ごとに決定するため、上限と下限のみを記載しております。



- 資産運用関係費は信託報酬を記載しています。この他、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
- 資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

2. 下記のお取扱いの場合に別途ご負担いただく費用

特別勘定のユニットプライスを計算した後に特定の契約者にご負担いただきます。

項目	費用		時期
積立金移転手数料	1 保険年度に 15 回目までは無料	1 保険年度 16 回目以後の移転について 2,500 円/回	移転時に積立金から控除します。
貸付利息	契約者貸付を受けるとき	貸付金額に対して年率 2.35%	年ごとの契約応当日に積立金から控除します。
解約控除	解約するとき	経過年数に応じて、払込保険料総額に対して 1~8%	解約時・一部解約時に積立金から控除します。
	一部解約するとき	経過年数に応じて、一部解約請求金額に対して 1~8%	

※ 一部解約請求金額が払込保険料総額を上回る場合には、解約控除対象額は払込保険料総額を上限とします。一部解約の際に解約控除対象額として取扱われた金額については、以後の解約控除対象額の計算の対象とする払込保険料総額から控除して取扱います。

※ 契約日（増額日）から 10 年未満で一般勘定で運用する定額年金へ変更した場合には、契約日（増額日）からの経過年数に応じた解約控除がかかります。

＜解約控除率＞

契約日（増額日）からの経過年数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上7年未満	7年以上8年未満	8年以上9年未満	9年以上10年未満	10年以上
解約控除対象額に対する解約控除率	8%	8%	7%	7%	6%	5%	4%	3%	2%	1%	0%

年金支払期間中にご負担いただく費用

下記の年金管理費を年金支払開始日以後ご負担いただきます。（遺族年金支払特約による年金も含みます。）

項目	費用		時期
年金管理費	年金額に対して 1%		年金支払開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します。

※ 上記費用は上限です。なお、年金支払開始日時点の費用を年金支払期間を通じて適用します。

三菱UFJ TOPIX・ファンドVA1

【基準日】2025年10月31日現在

■ファンドの特色

主な投資対象 TOPIXマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、国内の株式に直接投資することができます。

ベンチマーク 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

目標とする運用成果 ベンチマークと連動する投資成果をめざします。

信託報酬 純資産総額に対し、年率0.4620% (税抜 年率0.42%)

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
・ベンチマークは、設定日前営業日を10,000として指数化しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	53,168円
前月末比	+3,085円
純資産総額	14.95億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第23期	2025/03/25	0円
第22期	2024/03/25	0円
第21期	2023/03/27	0円
第20期	2022/03/25	0円
第19期	2021/03/25	0円
第18期	2020/03/25	0円
設定来累計		0円

■騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	6.2%	14.2%	26.1%	26.1%	83.4%	431.7%
ベンチマーク	6.2%	14.3%	26.4%	26.7%	85.8%	480.1%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。

・また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■資産構成

	比率
実質国内株式	99.9%
内 現物	98.2%
内 先物	1.7%
コールローン他	0.1%

■組入上位10業種

業種	比率	ベンチマーク構成比
1 電気機器	18.9%	19.4%
2 銀行業	9.1%	9.2%
3 情報・通信業	8.2%	8.4%
4 卸売業	7.1%	7.2%
5 輸送用機器	6.7%	6.8%
6 機械	6.3%	6.4%
7 化学	4.4%	4.5%
8 小売業	4.3%	4.4%
9 サービス業	3.5%	3.6%
10 医薬品	3.4%	3.5%

■組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率	ベンチマーク構成比
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.5%	3.5%
2 ソニーグループ	電気機器	3.1%	3.2%
3 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.1%	3.1%
4 日立製作所	電気機器	2.8%	2.9%
5 ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.8%	2.8%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.9%	1.9%
7 三菱重工業	機械	1.8%	1.9%
8 任天堂	その他製品	1.7%	1.7%
9 三菱商事	卸売業	1.6%	1.7%
10 アドバンテスト	電気機器	1.5%	1.5%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。原則として、比率は純資産総額に対する割合です。コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・東証株価指数(TOPIX) (配当込み)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る権利又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPXの関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数値の公表、利用などJPXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る権利又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

- ① 主として日本株を投資対象とします。
 ② 個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行ないます。

設定來の運用実績

(2025年10月31日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

コメント

(2025年10月31日現在)

当月の東京株式市場は、AI(人工知能)や半導体関連株の上昇、高市政権誕生による政策期待を背景に大幅高となりました。特にAI関連の値がさ株が相場を牽引し、日経平均株価の上昇が際立ちました。月初は米政府機関の一部閉鎖が懸念され軟調に始まりましたが、米ハイテク株の上昇を受けてAI関連株が買われたほか、自民党総裁選で高市氏が選出されると、財政拡張的な政策への期待や円安進行を支援材料に株価は一段高となりました。米中対立のほか、公明党の連立離脱や米地銀の信用不安などが一時的に相場の重荷となる場面もありましたが、自民党と日本維新の会の連立合意を経て高市内閣が発足すると、財政拡張・金融緩和路線の経済政策への期待が一段と高まり、株価は上値を追う展開となりました。米国の利下げ観測が強まる中でAI関連銘柄への買いが加速したほか、米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げ決定と日銀の政策金利据え置きによる円安進行も株価を押し上げました。米中対立の緩和期待や2025年7~9月期の好決算銘柄への買いが広がる中、日経平均株価は史上初となる52,000円台に到達して月を終えました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+6.20%、日経平均株価は+16.64%でした。※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース)

(2025年9月30日現在)

資産別組入状況

株式	98.4%
新株予約権証券(ワント)	-
投資信託・投資証券	-
現金・その他	1.6%

市場別組入状況

東証プライム	97.2%
東証スタンダード	0.8%
東証グロース	0.4%
その他市場	-

組入上位5業種

電気機器	21.7%
銀行業	11.4%
建設業	6.7%
輸送用機器	6.7%
化学	5.7%

* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

* 業種は東証33業種に準じて表示しています。

* 未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。



この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

【運用会社】T&Dアセットマネジメント株式会社 【引受保険会社】三井住友海上プライマリー生命株式会社

【(特別勘定の主な投資対象となる)投資信託の運用レポート】<月次>

2025年10月31日現在

アクティブバリューオープンVA2(適格機関投資家専用)

・この商品は、投資信託を特別勘定の主な投資対象とする生命保険商品であり、投資信託ではありません。
 ・この資料に掲載されている情報は、過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。

純資産総額

純資産総額	1 百万円

組入比率

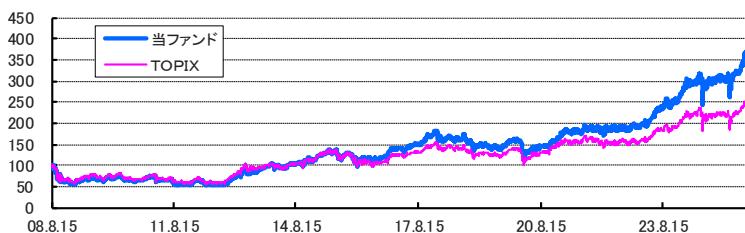
組入比率	97.21%
(うち株式現物)	(97.21%)
(うち株式先物)	—

※ 組入比率はペビーファンドの実質組入比率です。

ファンドの特色

- マザーファンドを通じて、実質的にわが国の株式に投資します。
- 株式の投資にあたっては、バリュエーション指標等の尺度により投資候補銘柄を選定します。
- 株式の実質的な組入比率は高位に保つことを基本方針とします。
- 東証株価指数(TOPIX)をベンチマークとし、中長期的にこれを上回る投資成果を目指します。

設定来の運用実績



※ 当ファンドの基準価額は信託報酬控除後の数値を記載しております。(信託報酬率=年0.935%(税抜0.85%))

※ 当ファンドは収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※ 当ファンド、TOPIX【出所:JPX総研】とも設定日(2008年8月15日)前日を100として指指数化表示しています。

騰落率比較

	当ファンド*	TOPIX	差
1ヶ月	5.60%	6.19%	-0.60%
3ヶ月	16.22%	13.21%	3.01%
6ヶ月	31.22%	24.91%	6.30%
1年間	32.12%	23.61%	8.51%
3年間	109.45%	72.68%	36.77%
設定来	296.14%	168.93%	127.22%

※ 当ファンドは収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位銘柄

No.	コード	銘柄名	組入比率	No.	コード	銘柄名	組入比率
1	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	4.60%	6	8058	三菱商事	2.64%
2	7203	トヨタ自動車	4.46%	7	6758	ソニー・グループ	2.62%
3	6501	日立製作所	3.70%	8	6701	日本電気	2.51%
4	8316	三井住友フィナンシャル・グループ	3.15%	9	8001	伊藤忠商事	2.29%
5	9984	ソフトバンクグループ	2.65%	10	5802	住友電気工業	2.21%
その他		61銘柄	66.39%	※ 組入比率はペビーファンドの実質組入比率です。			

ポートフォリオコメント

<株式市場概況>

10月の株式市場(TOPIX)は、AI(人工知能)関連株の上昇や高市内閣発足に伴う期待感から、7ヵ月連続で上昇し、過去最高値を更新しました。月初は米国政府閉鎖の懸念や公明党の連立離脱報道が影響し一時的に下落する場面もありましたが、高市新総裁の選出が好感され上昇に転じました。中旬には、米中貿易摩擦への懸念や米地銀の信用不安が重じなりましたが、米利下げ観測や高市内閣による積極的な財政政策への期待、さらに米中首脳会談での対中関税引下げ決定が相場を支える要因になりました。米AI関連銘柄の好決算も日本市場にも好影響を与えて下旬にかけて一段高となり、月末にはTOPIXは最高値を更新して終えました。その結果、10月末のTOPIXは前月末比+6.2%の3,331.83ポイントとなりました。業種別株価指数の騰落率上位は①非鉄金属(+26.8%)、②電気機器(+17.5%)、③情報・通信業(+12.5%)など、下位業種は①保険業(▲5.5%)、②サービス業(▲4.9%)、③パルプ・紙(▲4.8%)などとなりました。

<ファンド概況>

当ファンドの10月の基準価額騰落率は+5.60%となり、TOPIXの騰落率を約0.60ポイント下回る結果となりました。サービス業のアンダーウェイト、非鉄金属や電気機器のオーバーウェイトなどにより、業種配分効果はプラスとなりました。一方、アドバンテストや東京エレクトロンといった半導体大手銘柄のアンダーウェイトや会計処理問題が嫌気された産業用ガスのエア・ウォーターの株価下落などにより、銘柄選択効果はマイナスとなりました。

投資行動としては、電機セクターでリストラの進展と防衛関連事業が新たな成長ドライバと期待できる銘柄や受注の底打ち期待が持てる工場自動化関連銘柄、不動産セクターで実質資産価値との対比で割安感が目立つ大手銘柄を新規に組入れました。一方、成長が期待された事業の立ち上がりの遅れや主力事業の競争激化といった懸念材料が生じた化学セクターの銘柄等について全売却を実施しました。

<今後の運用方針>

国内株式市場は、AI需要の拡大、高市首相選出による拡張的な財政政策への期待、米中貿易摩擦の緩和などを受けほぼ一本調子で上昇してきました。国内政治に関しては、今後は期待から現実を見に行くフェーズへと移行するものと考えられ、各種期待の株価への織り込みが適切であるか否かが問われていくものと思われます。また、米国に目を移すと、利下げへの動きは引き続き株式市場のサポート要因になるものと考えられますが、長引く政府閉鎖の影響や一部地銀でくすぶる信用不安などには留意が必要です。以上を踏まえ、今後も短期業績の善し悪しにとらわれず、中長期的な視点を意識リストラや事業の構造転換、新事業・新商材、株主還元強化など個別要因によって業績改善が期待できる企業に積極投資していく方針です。

当ファンドでは引き続き株式市場の「期待値の低い銘柄」の中から、業績モメンタム好転の可能性が高い銘柄の新規組入れ、ウェイト引上げ、業績やバリュエーションの観点から投資魅力の低下した銘柄の売却やウェイト引下げを行い、ファンドのパフォーマンス向上に努めてまいります。

組入上位業種

No.	業種	組入比率
1	電気機器	21.02%
2	銀行業	8.25%
3	情報・通信業	8.17%
4	卸売業	7.69%
5	輸送用機器	6.89%

※ 組入比率はペビーファンドの実質組入比率です。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

【登録番号 TDF-07-E-29 登録年月 07.05】

三菱UFJ 外国株式ファンドVA(適格機関投資家限定)
運用会社：三菱UFJアセットマネジメント

2025年10月31日現在

■ファンドの特色

主な投資対象	外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、日本を除く世界主要国の株式に直接投資することもできます。
ベンチマーク	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)
目標とする運用成果	ベンチマークと連動する投資効果をめざします。

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)(純資産総額に対し年率0.45%(税抜))控除後の値です。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	5.7%	10.4%	30.7%	19.6%	84.3%	975.4%
ベンチマーク	5.8%	10.4%	30.9%	20.0%	86.0%	1083.6%

・実際のファンドでは、課税条件によってお控さまごとの騰落率は異なります。
また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	101,115円
前月末比	+5,496円
純資産総額	60.23億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第23期	2025/02/20	0円
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
第18期	2020/02/20	0円
設定来累計		1,000円

■資産構成

	比率
実質外国株式	100.0%
内 現物	98.6%
内 先物	1.4%
コールローン他	0.0%

■組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	76.1%
2 イギリス	3.7%
3 カナダ	3.4%
4 フランス	2.7%
5 ドイツ	2.4%
6 スイス	2.3%
7 オーストラリア	1.7%
8 オランダ	1.3%
9 スペイン	0.9%
10 イタリア	0.8%

■組入上位10業種

業種	比率
1 半導体・半導体製造装置	11.9%
2 ソフトウェア・サービス	10.2%
3 資本財	7.6%
4 メディア・娯楽	7.4%
5 テクノロジ・ハードウェア・機器	7.0%
6 金融サービス	6.8%
7 銀行	6.4%
8 医薬品・バイオテクノ・ライフ	6.1%
9 一般消費財・サービス流通・小売	4.7%
10 エネルギー	3.4%

■組入上位10銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率	ベンチマーク構成比
1 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	6.3%	6.4%
2 APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	5.2%	5.2%
3 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.7%	4.8%
4 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売	2.7%	2.7%
5 BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.1%	2.2%
6 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.1%	2.1%
7 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.8%	1.9%
8 ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.8%	1.8%
9 TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.6%	1.6%
10 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.1%	1.1%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

基準日：2025年10月31日

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定が投資する投資信託】GIMアジア株・アクティブ・オープンVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

【主要投資対象】

日本を除くアジア各国の株式。主にGIMアジア株・アクティブ・オープン・マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を通じて投資が行われます。

【運用方針】

主に日本を除くアジア各国の株式に投資し、MSCI ACファーワースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)を上回る投資成果の獲得を目指します。

設定来の基準価額(税引前分配金再投資)およびMSCI AC
ファーワースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)の推移

・MSCI ACファーワースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)は、設定日の前営業日を10,000として指値化しております。

・上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

・基準価額は、信託報酬率 年率1.10%・消費税で計算した信託報酬控除後の数値です。

※2024年8月14日に、当ファンドのベンチマークを「MSCI ACファーワースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)」から「MSCI ACファーワースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)」に変更しました。

ファンド情報

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	10.18%	24.22%	53.82%	34.73%	89.51%	62.96%	929.00%
ベンチマーク	9.88%	19.34%	51.33%	38.03%	111.78%	96.42%	1002.65%
基準価額		102,900円			月中高値 (10月31日)	102,900円	
株式等実質組入比率(マザーファンド)	97.59%			コール・ローン等(マザーファンド)	2.41%		
純資産総額	30.71億円			組入銘柄数(マザーファンド)	44		
為替ヘッジ比率	0.00%						

<分配金(税引前)の推移>

設定来合計	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期
	2014年11月	2015年11月	2016年11月	2017年11月	2018年11月
0円	0円	0円	0円	0円	0円
第17期 2019年11月	第18期 2020年11月	第19期 2021年11月	第20期 2022年11月	第21期 2023年11月	第22期 2024年11月
0円	0円	0円	0円	0円	0円

・騰落率については、基準価額に税引前分配金を再投資したものとして計算しております。

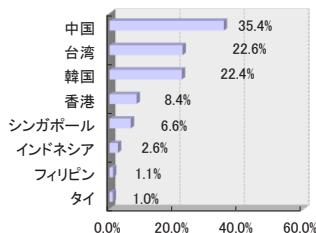
・ベンチマークはMSCI ACファーワースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)を採用し、設定日の前営業日を基準値としております。

・騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

・分配金は過去の実績であり将来の成果を保証しません。

・受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

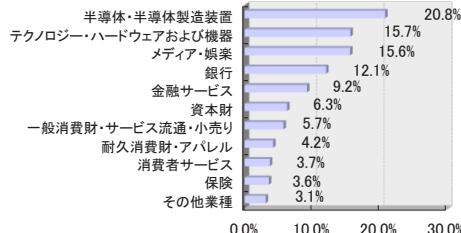
国(地域)別構成比率(マザーファンド)



・国(地域)別については、MSCI分類に基づき分類しておりますが、当社および当社グループの判断に基づき分類したものが一部含まれます。

・比率は組入株式等を100%として計算しております。

業種別構成比率(マザーファンド)



・業種については、GICS分類に基づき分類しておりますが、当社および当社グループの判断に基づき分類したものが一部含まれます。

・比率は組入株式等を100%として計算しております。

商品概要

組入上位10銘柄(マザーファンド)

(2025年9月30日現在)

銘柄	国(地域)別	業種	比率
1 TENCENT HOLDINGS LIMITED	中国	メディア・娯楽	9.8%
2 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	台湾	半導体・半導体製造装置	9.6%
3 SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.8%
4 ALIBABA GROUP HOLDING LIMITED	中国	一般消費財・サービス流通・小売	4.0%
5 DELTA ELECTRONICS INC	台湾	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.8%
6 AIA GROUP LTD	香港	保険	3.5%
7 SK HYNIX INC	韓国	半導体・半導体製造装置	3.3%
8 HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	香港	金融サービス	3.2%
9 XIAOMI CORPORATION-CLASS B	中国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.1%
10 ADVANCED MICRO-FABRICATION-A	中国	半導体・半導体製造装置	2.8%

・株式組入上位10銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。

・国(地域)別については、MSCI分類に基づき分類しておりますが、当社および当社グループの判断に基づき分類したものが一部含まれます。

・業種については、GICS分類に基づき分類しておりますが、当社および当社グループの判断に基づき分類したものが一部含まれます。

・比率は対純資産で計算しております。

本資料はJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社が信頼性が高いとみなす情報等に基づいて作成しておりますが、その正確さを保証するものではありません。本資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社および当社グループの判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではございません。また、将来予告なしに変更されることがあります。当社ないしは当社グループ会社又はそれらの従業員が本資料で言及している有価証券を保有している場合があります。当ファンドは、値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元金や収益分配が保証されるものではありません。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

基準日：2025年10月31日

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定が投資する投資信託】GIMアジア株・アクティブ・オープンVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

【主要投資対象】

日本を除くアジア各国の株式。主にGIMアジア株・アクティブ・オープン・マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を通じて投資が行われます。

【運用方針】

主に日本を除くアジア各国の株式に投資し、MSCI ACファーワースト・インデックス(除く日本、税引後配当込み、円ベース)を上回る投資成果の獲得を目指します。

市場概況

10月のMSCI ACファーワースト・インデックス(除く日本、配当なし、現地通貨ベース)は前月末比で上昇しました。当月の世界株式市場は、米中貿易摩擦の緩和の兆しや米国企業の好調な決算が下支えし、上昇しました。アジア株式市場も上昇基調を維持し、先進国市場を上回るパフォーマンスを記録しました。AI(人工知能)関連銘柄の上昇が継続した他、米中関係の進展が支援材料となりました。特に今月は韓国が堅調な企業決算や、AI向け設備投資の拡大、米国との多分野にわたる連携強化などを背景に、良好なパフォーマンスを示しました。また、中国では3ヵ月間の堅調な推移を経て調整局面に入り、高成長・モメンタム銘柄から高配当・低ボラティリティ(変動性)銘柄への資金シフトが進みました。そして、エネルギーや金融、公益事業セクターといった高配当セクターが相対的に堅調な動きを示した一方で、テクノロジー銘柄が相対的に軟調に推移しました。加えて、第4回全体会議(四中全会)ではハイテク分野を含む製造業の強化に取り組むことが再確認されました。

運用状況

当月の当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資)騰落率は+10.18%となり、ベンチマークの+9.88%を上回りました。

<対ベンチマーク要因分析>

△主なプラス要因(対ベンチマーク)

- 韓国の銘柄選択とアロケーション：メモリ半導体の需給が逼迫したこと、大手半導体メーカーの株価が大きく上昇した。また、米国からの受注が好調だった重電メーカーも、決算でその伸びが確認され、アウトパフォームした。
- 台湾の銘柄選択：データセンター向けの電力需要が拡大するとの見方から、重電メーカーの株価が引き続き上昇した。さらに、AIサーバーの需要が伸び続けていることや、来年発売予定の新型GPU(画像処理装置)に向けてサーバーメーカーの出荷が加速する期待も、同社の株価の上昇に貢献した。

▼主なマイナス要因(対ベンチマーク)

- 香港の銘柄選択：国慶節の連休に連続した需要が予想よりも弱かったため、マカオのゲーム関連銘柄が下落した。また、年初からの株価上昇を受けて、取引所関連銘柄が利益確定の売り圧力を受けたことにより、株価が下落した。
- 中国の銘柄選択：家電やEV(電気自動車)を扱う総合テクノロジー企業は、販売するEVの衝突・炎上事故や新型スマートフォンの売れ行き懸念などが影響し、株価が下落した。加えて、市場内のローテーションに合わせてインターネット関連銘柄も全体的にアンダーパフォームした。

市場見通しと運用方針

米国と各国・地域との貿易協議を経て、トランプ政権が導入する関税率の水準がより明確になりつつある中で、今後のグローバルの経済成長は鈍化し、インフレ率は上昇する可能性があると見ています。このような環境下において、アジア株式市場はボラティリティの高い局面に直面する可能性がありますが、中国やインドのような巨大な国内市場を持つ国はより耐性を有すると考えるほか、米ドル安が進行した場合はアジア株式市場へのポジティブな材料になりうると言っています。

中国経済の見方は2024年後半から、米国政府による関税や制裁・貿易規制などの不透明感は依然として残っている一方で、テクノロジー分野において大きく好転しています。特に中国の新興企業が代替AIモデルを低コストで開発したことやその普及のほか、中国企業の充電とバッテリー技術において重要な技術進歩が見られるなど、中国企業によるイノベーション(技術革新)は市場の予想を上回るものでした。さらに、中国企業が成長至上主義から株主還元重視の姿勢を強める明確な兆候が見られます。地政学リスクや成長減速といった逆風は残るもの、中国市場には構造的な改善の兆しが見られます。

また、テクノロジー企業の影響が大きい韓国や台湾などの北アジアでは、サーバー、検査・パッケージング、液冷技術、ASIC(特定用途半導体)など、AIサーバーチェーンの中で重要な地位を確立しています。需要拡大が見込まれる一方で、市場センチメントの変動リスクも無視できないことから、引き続きバリュエーション(価格評価)に着目した選別的な投資が肝要だと考えます。

経済の不確実性が増す中で、ボラティリティは当面は高い環境が予想されますが、米ドル安の進行がアジアの中央銀行による利下げの実施を促す可能性があることや、景気下支えのための各国政府による経済刺激策、及び中国経済に対する見通しの改善などが市場を下支えすると見ています。

当ファンドにおいては、引き続き成長性があり、かつ株価が割安と判断される銘柄を中心に投資を行う方針です。

・上記運用状況及び運用方針については、実質的な運用を行なうマザーファンドに係る説明を含みます。

・MSCIの各インデックスは、MSCI Inc.が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は如何に保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。

本資料はJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社が信頼性が高いとみなす情報等に基づいて作成しておりますが、その正確さを保証するものではありません。本資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更されることがあります。当社ないしは当社グループ会社又はそれらの従業員が本資料で言及している有価証券を保有している場合があります。当ファンドは、値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元金や収益分配が保証されるものではありません。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

グローバル・ソブリン・オープン VA

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
 ・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(円ベース、日本を含む)です。
 ・ベンチマークは、設定日を10,000として指指数化しています。

■騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.5%	5.2%	9.6%	5.4%	15.2%	110.5%
ベンチマーク	3.7%	5.2%	9.6%	5.7%	18.6%	131.1%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客様ごとの騰落率は異なります。
 また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
 ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 107銘柄				
銘柄	通貨	クーポン	残存年数	比率
1 アメリカ国債	米ドル	3.1250%	18.8年	3.6%
2 スペイン国債	ユーロ	3.5500%	8.0年	3.1%
3 アメリカ国債	米ドル	4.1250%	27.8年	3.1%
4 フランス国債	ユーロ	2.0000%	7.1年	3.1%
5 フランス国債	ユーロ	2.7500%	4.3年	3.0%
6 アメリカ国債	米ドル	4.0000%	4.0年	2.9%
7 アメリカ国債	米ドル	4.2500%	2.2年	2.8%
8 アメリカ国債	米ドル	4.1250%	4.8年	2.8%
9 アメリカ国債	米ドル	4.0000%	3.7年	2.8%
10 アメリカ国債	米ドル	4.2500%	9.8年	2.8%

■運用担当者コメント

<投資環境>

債券市場では、主要国の長期金利は低下しました。米国では、政府機関の一部閉鎖が続いていることやインフレ率が市場予想を下回ったことなどから、長期金利は低下しました。ユーロ圏では、ドイツの生産関連指標が市場予想を下回ったことなどから、ドイツの長期金利は低下しました。英国では、インフレ率が市場予想を下回ったことなどから、長期金利は低下しました。

為替市場では、主要国の通貨は円に対して上昇しました。米ドルは、高市首相による財政拡大と緩和的な金融政策への期待から日本の株式市場が最高値を更新し市場のリスク選好度が高まり、円に対して上昇しました。ユーロは、対米ドルでは下落したものの、市場での円安の動きによる影響から円に対して上昇しました。英ポンドは、インフレ率の低下などから対米ドルで下落したものの、市場での円安の動きによる影響から円に対して上昇しました。

<今後の運用方針>

債券戦略では、米国や欧州などで財政悪化懸念が高まる一方、景気の鈍化による金利の低下に備え、満期が7年から10年程度の国債の保有比率を高めとします。また、ユーロ圏では相対的に金利水準の高いフランスなどの国債を多めに保有することで、ポートフォリオのインカム向上を目指します。

為替戦略では、金利収入が期待できることなどから日本との金利差のある外貨を分散して保有し、中国元や円などの保有を少なめとします。(運用主担当者: 橋口達也)

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	20,832円
前月末比	+708円
純資産総額	4.69億円

基準日: 2025年10月31日

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第23期	2025/02/17	0円
第22期	2024/02/19	0円
第21期	2023/02/17	0円
第20期	2022/02/17	0円
第19期	2021/02/17	0円
第18期	2020/02/17	0円
設定来累計		130円

■資産構成

	比率
債券	98.2%
内 現物	98.2%
内 先物	0.0%
コールローン他	1.8%

■ポートフォリオ特性

	当月末	ベンチマーク
最終利回り	3.7%	3.3%
デュレーション	7.1	6.7
平均残存年数	9.3年	9.4年

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
3年未満	14.3%
3~5年	17.7%
5~7年	11.9%
7~10年	33.0%
10年以上	23.0%

・為替予約等を含めた実質的な比率です。

■組入通貨

通貨	比率
1 米ドル	41.2%
2 ユーロ	29.1%
3 英ポンド	6.2%
4 日本円	5.9%
その他	17.6%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・ベンチマークは基準価額との関連を考慮して、前営業日の値を用いています。・FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指標のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。・上記のベンチマークは、FTSE世界国債インデックス・データ(出所:Bloomberg)に基づき、設定日(2002年11月29日)の値を10,000として三菱UFJアセットマネジメントが指指数化し計算したものです。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

作成基準日: 2025年10月31日

バランスファンドVA25A<適格機関投資家限定>月次報告書

設定・運用:
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(株)

ファンドの特色

- 日本株式インデックス・マザーファンド受益証券、日本債券インデックス・マザーファンド受益証券、外国株式インデックス・オーブン・マザーファンド受益証券、および外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券に投資し、内外の株式・公社債への分散投資することにより長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
- 基本配分比率は国内株式15%、国内債券40%、外国株式10%、外国債券35%です。
- 上記の基本配分比率には各資産毎に一定の変動幅を設けます。また、市況動向等の変化に応じて当該基本配分比率の見直しを行う場合があります。
- 実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては原則為替ヘッジを行いません。ただし、運用効率の向上を図るため、為替予約取引等を活用する場合があります。
- 運用の効率化を図るため、株価指数先物取引および債券先物取引等を活用することができます。このため、株式および債券の組入総額と株価指数先物取引および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

基準価額の騰落率

ファンド設定日: 2005/3/31

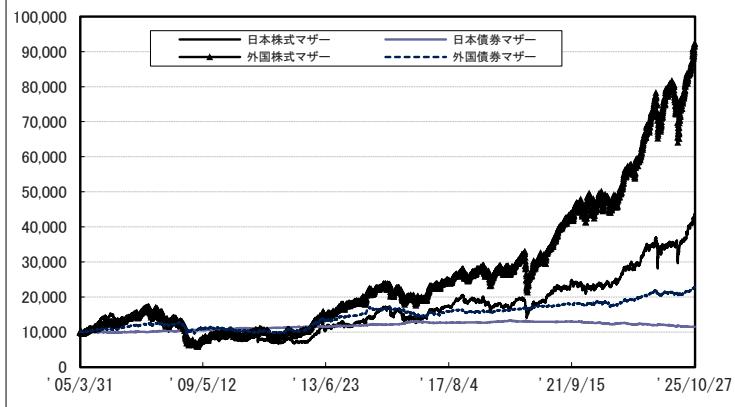
	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファン	2.88%	4.34%	4.90%	9.33%	5.84%	20.76%	118.84%
参考指数	2.93%	4.43%	5.01%	9.57%	6.22%	22.03%	136.37%
差	-0.05%	-0.09%	-0.10%	-0.24%	-0.35%	-1.27%	-17.53%

(注)参考指数は、当ファンドが組入れている各資産(マザーファンド)のベンチマーク収益率に、各基本資産配分比率を乗じて算出したものです。

基準価額の推移 (当ファンド)



【ご参考】マザーファンドの推移



注: 2005/3/31を10,000として指数化しています。

◇10月の市場動向◇

【国内株式】10月の国内株式市場は、利益確定売りや米地銀の信用不安が重荷となりましたが、米中対立緩和期待や米利下げ観測を受けた米株高、次期政権の財政拡張期待や新たな連立政権発足を受けた政局不透明感の後退に加えて、円安・ドル高進行も相場を支える中、上昇しました。

【国内債券】10月の日本債券市場は、貿易問題を巡る米中対立懸念や米地銀の信用不安が債券の買い材料となりましたが、次期政権の拡張的な財政政策への警戒感や円安進行を受けた日銀の早期利上げ観測が重荷となる中、債券の売りが優勢となりました。日本10年国債利回りは前月末から0.02%上昇の1.67%となりました。

【外国株式】10月の外国株式市場は、米中対立懸念や米政府機関の一部閉鎖を巡る懸念、米地銀の信用不安から調整する場面がありました。米中対立の緩和期待や米利下げ観測を背景とした米株高、フランスの政治不安後退などが相場を支える中、上昇しました。地域別の騰落率は、米国市場が約2.4%の上昇、欧州市場が約2.5%の上昇、アジア市場が約0.2%の上昇となりました。

【外国債券】10月の海外債券市場は、米連邦準備理事会(FRB)のパウエル議長が12月の利下げは「定まった結論ではない」と話したことやユーロ圏景気の回復期待が重荷となりましたが、米労働市場減速や米政府機関の一部閉鎖、貿易問題を巡る米中対立懸念などが相場を支える中、債券が買われました。米国10年国債利回りは前月末から0.07%低下の4.08%となりました。

ファンドの状況

● 基準価額等

基 準 価 額	前月末比	
	21,884円	+613円
純 資 産 総 額	8,086百万円	+81百万円

※1) 基準価額は信託報酬控除後です。

※2) 純資産総額は百万円未満四捨五入

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	15.2%	15.0%	0.2%
日本債券マザー	39.4%	40.0%	-0.6%
外国株式マザー	10.2%	10.0%	0.2%
外国債券マザー	35.1%	35.0%	0.1%
コール他	0.2%	0.0%	0.2%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注)対投資信託財産総額比

☆この報告書は、受益者の皆様へ当ファンドの運用状況をお伝えすることを目的として作成したもので、投資の勧説を目的とするものではありません。☆当ファンドは、主に国内外の株式や債券を投資対象としています。組入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組入れた株式や債券の発行者の経営・財務状況の変化及びそれに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。これに伴うリスクはお客様ご自身の負担になります。☆投資信託は預金ではないため、預金保険制度の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。元本の保証はありません。☆資料中のグラフ、表、その他データにつきましては、過去のデータに基づき基準日現在にて作成したものであり、将来を予測するものではありません。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

作成基準日: 2025年10月31日

バランスファンドVA50B<適格機関投資家限定>月次報告書

設定・運用:
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(株)

ファンドの特色

- 日本株式インデックス・マザーファンド受益証券、日本債券インデックス・マザーファンド受益証券、外国株式インデックス・オーブン・マザーファンド受益証券、および外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券に投資し、内外の株式・公社債への分散投資することにより長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
- 基本配分比率は国内株式25%、国内債券25%、外国株式25%、外国債券25%とします。
- 上記の基本配分比率には各資産毎に一定の変動幅を設けます。また、市況動向等の変化に応じて当該基本配分比率の見直しを行う場合があります。
- 実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては原則為替ヘッジを行いません。ただし、運用効率の向上を図るため、為替予約取引等を活用する場合があります。
- 運用の効率化を図るため、株価指数先物取引および債券先物取引等を活用することができます。このため、株式および債券の組入総額と株価指数先物取引および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ファンドの状況

● 基準価額等

		前月末比
基 準 価 額	36,996円	+1,422円
純 資 産 総 額	59,138百万円	+1,733百万円

※1) 基準価額は信託報酬控除後です。

※2) 純資産総額は百万円未満四捨五入

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	25.5%	25.0%	0.5%
日本債券マザー	23.6%	25.0%	-1.4%
外国株式マザー	25.5%	25.0%	0.5%
外国債券マザー	25.2%	25.0%	0.2%
コール他	0.2%	0.0%	0.2%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注)対投資信託財産総額比

基準価額の騰落率

ファンド設定日: 2003/8/1

	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファン	4.00%	6.18%	7.44%	15.84%	11.66%	40.65%	269.96%
参考指数	4.01%	6.22%	7.50%	16.02%	11.96%	41.86%	301.38%
差	-0.01%	-0.04%	-0.05%	-0.18%	-0.29%	-1.21%	-31.42%

(注)参考指数は、当ファンドが組入れている各資産(マザーファンド)のベンチマーク収益率に、各基本資産配分比率を乗じて算出したものです。

基準価額の推移 (当ファンド)



【ご参考】マザーファンドの推移



注: 2003/7/31を10,000として指数化しています。

◇10月の市場動向◇

【国内株式】10月の国内株式市場は、利益確定売りや米地銀の信用不安が重荷となりましたが、米中対立緩和期待や米利下げ観測を受けた米株高、次期政権の財政拡張期待や新たな連立政権発足を受けた政局不透明感の後退に加えて、円安・ドル高進行も相場を支える中、上昇しました。

【国内債券】10月の日本債券市場は、貿易問題を巡る米中対立懸念や米地銀の信用不安が債券の買い材料となりましたが、次期政権の拡張的な財政政策への警戒感や円安進行を受けた日銀の早期利上げ観測が重荷となる中、債券の売りが優勢となりました。日本10年国債利回りは前月末から0.02%上昇の1.67%となりました。

【外国株式】10月の外国株式市場は、米中対立懸念や米政府機関の一部閉鎖を巡る懸念、米地銀の信用不安から調整する場面がありました。米中対立の緩和期待や米利下げ観測を背景とした米株高、フランスの政治不安後退などが相場を支える中、上昇しました。地域別の騰落率は、米国市場が約2.4%の上昇、欧州市場が約2.5%の上昇、アジア市場が約0.2%の上昇となりました。

【外国債券】10月の海外債券市場は、米連邦準備理事会(FRB)のパウエル議長が12月の利下げは「定まった結論ではない」と話したことやユーロ圏景気の回復期待が重荷となりましたが、米労働市場減速や米政府機関の一部閉鎖、貿易問題を巡る米中対立懸念などが相場を支える中、債券が買われました。米国10年国債利回りは前月末から0.07%低下の4.08%となりました。

☆この報告書は、受益者の皆様へ当ファンドの運用状況をお伝えすることを目的として作成したもので、投資の勧説を目的とするものではありません。☆当ファンドは、主に国内外の株式や債券を投資対象としています。組入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組入れた株式や債券の発行者の経営・財務状況の変化及びそれに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。これに伴うリスクはお客様ご自身の負担になります。☆投資信託は預金ではないため、預金保険制度の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。元本の保証はありません。☆資料中のグラフ、表、その他データにつきましては、過去のデータに基づき基準日現在にて作成したものであり、将来を予測するものではありません。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

バランスファンドVA25A,50Bのマザーファンド

日本株式インデックス・マザーファンド

●組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.52%
2	ソニーグループ	電気機器	3.16%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.11%
4	日立製作所	電気機器	2.89%
5	ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.83%
6	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.90%
7	三菱重工業	機械	1.86%
8	任天堂	その他製品	1.74%
9	三菱商事	卸売業	1.65%
10	アドバンテスト	電気機器	1.54%

●業種別内訳

項目	業種	2025/10/31
国内株式	【全体】	100.00%
	水産・農林業	0.07%
	鉱業	0.32%
	建設業	2.27%
	食料品	2.80%
	繊維製品	0.34%
	パルプ・紙	0.13%
	化学	4.50%
	医薬品	3.47%
	石油・石炭製品	0.44%
	ゴム製品	0.63%
	ガラス・土石製品	0.63%
	鉄鋼	0.76%
	非鉄金属	1.67%
	金属製品	0.46%
	機械	6.38%
	電気機器	19.24%
	輸送用機器	6.80%
	精密機器	2.04%
	その他製品	2.88%
	電気・ガス業	1.34%
	陸運業	2.19%
	海運業	0.54%
	空運業	0.30%
	倉庫・運輸関連業	0.14%
	情報・通信業	8.39%
	卸売業	7.22%
	小売業	4.40%
	銀行業	9.26%
	証券、商品先物取引業	0.94%
	保険業	3.00%
	その他金融業	1.08%
	不動産業	1.82%
	サービス業	3.56%

日本債券インデックス・マザーファンド

●組入上位10銘柄

2025/10/31

	投資比率	銘柄名	利率	償還日
1	2.31%	第368回利付国債(10年)	0.20%	2032/9/20
2	2.11%	第163回利付国債(5年)	0.40%	2028/9/20
3	2.02%	第361回利付国債(10年)	0.10%	2030/12/20
4	1.47%	第363回利付国債(10年)	0.10%	2031/6/20
5	1.44%	第367回利付国債(10年)	0.20%	2032/6/20
6	1.41%	第151回利付国債(5年)	0.01%	2027/3/20
7	1.36%	第1回クライメート・トランジション利付国債(10年)	0.70%	2033/12/20
8	1.20%	第351回利付国債(10年)	0.10%	2028/6/20
9	1.17%	第347回利付国債(10年)	0.10%	2027/6/20
10	1.09%	第162回利付国債(5年)	0.30%	2028/9/20

*なお、比率につきましては全てマザーファンドにおける現物資産の時価総額に対する比率を表示しております。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

バランスファンドVA25A,50Bのマザーファンド

外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

●組入上位10銘柄

銘柄名	投資国名	業種名称	比率
1 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	6.39%
2 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.23%
3 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.79%
4 AMAZON COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.75%
5 BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.17%
6 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.11%
7 META PLATFORMS INC-A	アメリカ	メディア・娯楽	1.87%
8 ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.79%
9 TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.65%
10 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.11%

●国別内訳

項目	国名	2025/10/31
外国株式	【全体】	100.00%
	〈北米〉	80.18%
	アメリカ	76.77%
	カナダ	3.41%
	〈アジア・太平洋〉	2.72%
	オーストラリア	1.71%
	香港	0.52%
	シンガポール	0.45%
	ニュージーランド	0.05%
	〈ヨーロッパ〉	16.82%
	イギリス	3.79%
	フランス	2.80%
	ドイツ	2.46%
	スイス	2.38%
	オランダ	1.30%
	イタリア	0.82%
	スペイン	0.93%
	スウェーデン	0.94%
	フィンランド	0.29%
	ベルギー	0.27%
	アイルランド	0.11%
	デンマーク	0.47%
	ノルウェー	0.14%
	ポルトガル	0.06%
	オーストリア	0.06%
	〈アフリカ・中東〉	0.27%
	イスラエル	0.27%

外国債券インデックス・マザーファンド

●国別構成比

項目	国名	国別構成比率(%)		差	修正デュレーション(年)		
		ファンド	ヘンチマーク		ファンド	ヘンチマーク	差
外国債券	【全体】	100.00%		100.00%	0.00%	6.29	6.28
	〈北米〉	48.34%		48.30%	0.04%		
	アメリカ	46.35%		46.31%	0.04%	5.73	5.73
	カナダ	1.99%		1.99%	0.00%	6.61	6.56
	〈南米〉	0.83%		0.85%	-0.02%		
	メキシコ	0.83%		0.85%	-0.02%	5.02	5.02
	〈アジア・太平洋〉	13.81%		13.83%	-0.03%		
	オーストラリア	1.22%		1.23%	-0.01%	6.40	6.39
	ニュージーランド	0.29%		0.29%	0.00%	5.96	6.09
	シンガポール	0.40%		0.40%	0.00%	8.72	8.71
	マレーシア	0.51%		0.51%	0.00%	7.43	7.44
	中国	11.39%		11.40%	-0.02%	5.62	5.60
	〈ヨーロッパ〉	36.64%		36.63%	0.01%		
	イタリア	6.76%		6.77%	0.00%	6.28	6.28
	ドイツ	5.76%		5.77%	-0.01%	7.09	7.09
	フランス	7.23%		7.25%	-0.01%	7.12	7.10
	イギリス	5.74%		5.74%	0.00%	8.32	8.30
	スペイン	4.43%		4.39%	0.04%	6.80	6.80
	ベルギー	1.51%		1.52%	-0.01%	8.28	8.28
	オランダ	1.26%		1.26%	0.00%	8.25	8.25
	オーストリア	1.13%		1.13%	0.00%	7.91	7.91
	デンマーク	0.22%		0.22%	0.00%	8.23	8.22
	スウェーデン	0.19%		0.19%	0.00%	5.11	5.12
	フィンランド	0.52%		0.51%	0.00%	7.59	7.59
	アイルランド	0.42%		0.43%	-0.01%	7.87	7.90
	ポーランド	0.69%		0.69%	0.01%	3.89	3.90
	ノルウェー	0.17%		0.17%	0.00%	5.66	5.60
	ポルトガル	0.60%		0.60%	0.00%	7.18	7.18
	〈アフリカ・中東〉	0.39%		0.39%	0.00%		
	イスラエル	0.39%		0.39%	0.00%	6.40	6.37

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：マネー

フィデリティ・マネー・プールVA

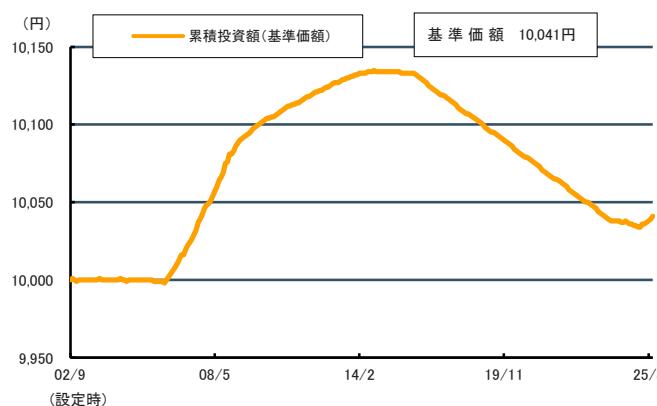
藍・彩・花

◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、
安定した収益の確保を図ることを目的として
運用を行ないます。

商品概要

形態	追加型投信／国内／債券
投資対象	本邦通貨表示の公社債等
設定日	2002年9月20日
信託期間	原則無期限
決算日	原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日)

設定來の運用実績 (2025年10月31日現在)



累積リターン (2025年10月31日現在)

ファンド	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.02%	0.04%	0.07%	0.04%	-0.13%	0.41%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された收益率です。

過去5期分の収益分配金(1万口当たり／税込)

第 19期(2020.11.30) -----	0円
第 20期(2021.11.30) -----	0円
第 21期(2022.11.30) -----	0円
第 22期(2023.11.30) -----	0円
第 23期(2024.12.02) -----	0円

組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース)		(2025年9月30日現在)		
銘柄	種類	格付	比率	
1 1324国庫短期証券	債券	A	23.4%	
2 1334国庫短期証券	債券	A	22.5%	
3 1325国庫短期証券	債券	A	17.3%	
4 1329国庫短期証券	債券	A	8.7%	
5 1318国庫短期証券	債券	A	6.9%	
6 1328国庫短期証券	債券	A	6.9%	
7 1316国庫短期証券	債券	A	4.0%	
8 -	-	-	-	
9 -	-	-	-	
10 -	-	-	-	

(組入銘柄数： 7)

上位10銘柄合計 89.8%
(対純資産総額比率)

純資産総額 57.3 億円 (2025年10月31日現在)

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

(2025年9月30日現在)

資産別組入状況

債券	89.8%
CP	-
CD	-
現金・その他	10.2%

組入資産格付内訳

長期債券 格付	AAA/Aaa	-
	AA/Aa	-
	A	89.8%
短期債券 格付	A-1/P-1	-
	A-2/P-2	-
	現金・その他	10.2%

平均残存日数	57.58日
平均残存年数	0.16年

格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。(「プラス／マイナス」の符号は省略しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

(対純資産総額比率)

* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧説)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

Fidelity フィデリティ投信株式会社
INTERNATIONAL

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

募集代理店

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル
資料請求・お問合わせ
フリーダイヤル 0120-125-104
<https://www.ms-primary.com>